

東京成徳大学 ハ千代キャンパス 図書館だより

春の臨時号
2018.03.28 発行

図書館運営委員会

図書館利用案内

漫画やDVDもあるよ！
たくさんご利用、
お待ちしております♪



【開館時間】

曜日	開館時間
月曜日～金曜日	9:00～19:00
土曜日	9:00～15:00

休館日：日曜日、祝祭日、創立記念日（11/26）
月末整理日（不定休）、学校行事等の実施日、長期休暇中の大学閉鎖日
※都合により開館時間を変更・臨時休館をする場合は、その都度お知らせします。

【本を借りる】

	貸出冊数	貸出期間	延長利用
学部学生	5冊	14日間	1回可（14日間）
大学院生	10冊	30日間	1回可（30日間）
卒業生・修了生	5冊	30日間	不可



視聴覚コーナー

まんがコーナー

借りたい本と学生証を持って、カウンターで手続きをしてください。
まんが（コミック）の貸出期間は7日間です。
長期休暇中は貸出期間が長くなります。詳細はその都度掲示します。

読みたい本や、図書館に
置いて欲しい本があったら、
是非リクエストしてね！



【本を返す】

借りた本はカウンターへ返却ください。学生証は必要ありません。

【お願い】

図書館内では、フタのできる飲み物以外の**飲食はできません**。
音楽プレーヤーの音漏れや話し声に注意しましょう。

館内に持ち込める
（密封できるもの）



ふたがしっかり閉まる容器

館内に持ち込めない
（密封できないもの）

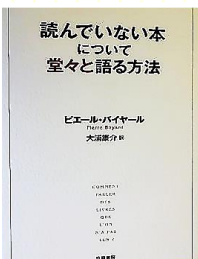


倒れるとこぼれるおそれのあるもの

学生による！

Book review

本書は題名通り、読んでいない本について堂々と語る方法について書かれている。未読の段階のどんな状況でコメントするのか、心構えは…という内容である。今までまじめに本を読んだ人も、読んでいない人も如何に語るか。本をあまり読まない人も「本を読まないといけない」という罪の意識と、教養の重圧から解放。この本を読むことで今までに学んだことのないものを学べるかもしれない一冊である。私個人としてはこの題名は衝撃的であった。読んだことのない本について語ることは、やってはいけないものであると考えていたからだ。この本を読んだことで今までの考えを塗り替え、考えの幅を広げることができた。この本を選んだ私は果たしてこの本を本当に読んだか…それは誰も知らないことなのである。



『読んでいない本について
堂々と語る方法』
著者 ピエール・バイヤール
訳 大浦康介
発行社 筑摩書房
2008年11月25日発行
【請求番号：019/B29】
図書館3階伝統ゼミ選書

～お知らせ～

春季長期貸出返却日は、**4/16(月)**です。
返却忘れにご注意ください！

図書館の利用方法でわからない
ことがあったら、図書館スタッフへ
気軽に聞いてね～！

